

学科名		学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 Webスペシャリスト科		2 年	C言語Ⅲ	
授業の種類		授業担当者	実務経験	
☒ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習		伊勢本 勝一	☒ 有 ☐ 無	
[実務経験歴]				
・ IT系企業において約3 0 年間、SEとして担当～マネージャに従事 ・ 主に保険会社の業務システムにおいて、要求分析～システム提案、要件定義～導入、保守を担当 ・ データベース設計～構築、サーバサイドAP開発～テスト、UNIX系OSのサーバ構築を実施 ・ 業務改革の要求分析～コンサルテーションを実施				
単位数（授業の回数）		時間数☒	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）		60 時間	☐ 前期 ☐ 後期 ☒ 通年	☐ 必修 ☒ 選択
[授業の目的・ねらい]				
・ C言語によるプログラム開発の基礎知識を身につける。 ・ サンプルプログラムを開発ツール（VScode）を用いてコーディング～実行を行う事により理解度を高める				
[授業全体の内容の概要]				
①C言語の命令、関数、ファイル処理、等の文法を学ぶ ②各自パソコンで開発環境（VScode）を整備しサンプルプログラムを通じデバッグの手順を学ぶ				
[授業終了時の達成課題(到達目標)]				
C言語のプログラミング技術の基礎を身につける。				
[準備学習の具体的な内容]				
予習：教科書の該当箇所を読む。 復習：教科書を読み返す。問題の反復練習。課題の作成。				
[使用テキスト]			[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト C言語完全入門 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。			定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の3分の2以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、課題提出）20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]				
1回	イントロダクション（他言語との違い）， gcc／VScodeのCオプションのインストール， HelloWorld かく			
2回	プログラムの構造（関数，ブロック，文）， 名前（識別子）， 基本データ型			
3回	式と演算子， 優先順位			
4回	変数とスコープ			
5回	if文			

6回	if文 2 / 三項演算子
7回	for文 / インクリメントとデクリメント
8回	まとめと振り返り
9回	for文 2
10回	while文
11回	do～while文
12回	break / continue, switch文
13回	配列の基本
14回	配列の利用
15回	まとめと振り返り
16回	配列 (多次元配列)
17回	文字と文字列
18回	文字と文字列 2
19回	関数 1
20回	関数 2
21回	ファイル分割, 宣言と定義
22回	まとめと振り返り
23回	ポインタ 1
24回	ポインタ 2
25回	配列とポインタ
26回	構造体
27回	共用体
28回	ファイル入出力
29回	関数ポインタ
30回	まとめと振り返り